

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7 年 3 月 31 日

事業所名 ミライムキッズアカデミー福島鎌田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1	対象児童なし	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	検討中 現在行っていない。今後検討したい。	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	7				
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7				
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		7	受け入れなし 医療的ケアが必要な子が現在いない。		

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1	対象児童なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7	個人情報保護のためなし	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7			
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		
		31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		契約書に記載あり	
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
35		個人情報に十分注意している	7			
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7	個人情報保護のためなし	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 7 年 3 月 31 日

事業所名 ミライムキッズアカデミー福島鎌田教室

保護者等数(児童数) 34 回収数28 割合82.4%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	8			1 広いわけではないが、机の移動なども良い教育になっていると思う。室内で運動をするとき狭そうな感じがします。	施設基準は規定よりも広く確保し運営しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	26				2	施設基準よりも多く配置し安全確保に努めています。基準に合わせて職種を配置しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	26	2				教室内はバリアフリー化されています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	28					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	25	1			2	1か月単位で運動内容の見直しを行っております。また、1週間の中で段階に応じて難易度を分けています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	5	4		7 機会がなくてもいいと思うので今のままで大丈夫です。機会があるのかわかりませんが、でも学童との交流はなくてよいです。	子供の特性上や個人情報観点から交流が難しいのが現状ですが、研修会等は一般公募もしています。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	2				契約時や懇談時に保護者へ説明し、確認しています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26	2				懇談以外にも必要に応じて連絡をし、お電話での情報共有や場の設定をしています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	1	2		面談の機会が少ないと思う。	懇談以外にも必要に応じて連絡をし、お電話での情報共有や場の設定をしています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	24	2			2	年に数回行っております。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	27	1				重要事項説明書に担当者を記載し、契約時に説明しています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	27				1	ブログやお楽しみ表、お便りやイベントのお知らせ等にて情報提供しています。
14 個人情報に十分注意しているか	28						
常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	23	3			2 わかりません。	各マニュアルを使用し共有しています。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	2			4 わかりません。	定期的に避難訓練等を行っています。また、実施報告書も作成し保管しています。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	21	7			他学年や他校のお子さんとも交流できるように配慮して頂戴かかっていません。	特性に合わせて、活動等設定しています。たくさん関わりが持てるよう日々の活動を配慮してまいります。
	18 事業所の支援に満足しているか	27	1			親の立場、子どもの立場で考えて頂けるのが支えになっています。たまにお出かけ公園、公共施設、公共機関を使って等がもう少しあるとうれしいです。	これからも様々な体験ができるように工夫してまいります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。